



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東  
コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL 03-6300-6335  
四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年3月21日～2023年9月20日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,992	23.7	79	16.7	20	△43.2	14	△23.5
2023年3月期第2四半期	3,226	—	67	—	36	—	18	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 38百万円 (125.4%) 2023年3月期第2四半期 17百万円 (△9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	7.08	6.00
2023年3月期第2四半期	9.26	7.77

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,505	888	16.0
2023年3月期	4,945	870	17.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 882百万円 2023年3月期 864百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年3月21日～2024年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,220	2.6	110	0.5	60	31.4	42	—	20.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2023年3月22日開催の取締役会において、連結子会社であるMEDIHEAL JAPAN株式会社の解散とその事業を当社に譲り受けることを決議しているため、手続き完了後、2024年3月期中に非連結決算に移行する予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,040,928株	2023年3月期	2,040,928株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,566株	2023年3月期	3,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,037,380株	2023年3月期2Q	2,035,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、長引くロシア・ウクライナ戦争や中東での戦争の影響による世界的な物価高騰、また、円安基調が続く中、企業業績や個人消費への影響が懸念される状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、主力事業のファッション事業と美容事業による新たな成長戦略に取り組んでおります。

ファッション事業（店舗運営事業）においては、顧客対策として、これまでの膨大な顧客購入データをAIの解析にかけ、再来店施策への活用に取り組んでおります。また、ヘビーユーザーのお客様にも買い物を楽しんでいただける商品展開に注力し、引続き、アプリ会員獲得とプッシュ通知での新商品・季節商品・イベント・クーポン等、会員様にメリットのある情報伝達に努めております。

美容事業においては、商品戦略では「エイジレス」「ジェンダーレス」をコンセプトに、新商品の展開を行っております。今後も、年齢・性別に関係なく推奨できるスキンケア商品の開発に注力し、ターゲット顧客の拡大を目指します。

流通戦略では有力ショップ限定のプロモーションや新製品の先行販売、専用什器・プロモーション什器導入による売場一等地のスペース確保など、大手パラエティストアでの販売強化、存在感UPに取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,992百万円（前年同四半期比23.7%増）、総額表示による売上高は4,496百万円（前年同四半期比17.0%増）となり、営業利益は79百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。しかしながら、引続き円安の影響は大きく、為替差損36百万円を計上したことにより、経常利益は20百万円（前年同四半期比43.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同四半期比23.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### [ファッション事業]

ファッション事業においては、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』を2店舗出店し、輸入ブランド専門店『GINZA LoveLove』11店舗、『&choa!』13店舗の全24店舗体制で運営しております。『GINZA LoveLove』では、顧客対策として、AIを使った顧客データ解析による再来店施策に着手した他、アプリ会員への情報発信に努めるなど、売上高の確保に注力いたしましたが、コロナの分類変更が、行楽など他の消費行動に向かった影響もあり、売上高は1,768百万円（前年同四半期比2.7%減）、総額表示による売上高は2,271百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント損失は27百万円（前年同四半期は10百万円のセグメント損失）となりました。

#### [美容事業]

美容事業においては、主力商品の売上が好調に推移したこと、大手パラエティストアへの販促を強化したこと、公式ECサイトでのセール企画が大きく貢献したことなどにより、売上高は2,076百万円（前年同四半期比58.8%増）となりました。しかしながら、円安による輸入原価への影響と為替差損の計上などにより、セグメント利益は216百万円（前年同四半期比0.8%増）に留まりました。

#### [賃貸部門]

賃貸部門においては、売上高は17百万円（前年同四半期比7.8%減）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

#### [その他]

その他の部門では、売上高は130百万円（前年同四半期比58.6%増）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比452.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産は5,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ560百万円増加いたしました。これは主に、新規店舗の出店や美容事業の拡大などにより商品が241百万円、売掛金が329百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、負債合計は4,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ542百万円増加いたしました。これは主に、社債が20百万円、長期借入金が39百万円、納税などにより未払法人税等が9百万円減少しましたが、季節性資金の調達などにより短期借入金が303百万円増加したこと、また、需要期の直後で支払手形及び買掛金が247百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、純資産合計は888百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14百万円の計上と利益剰余金の配当20百万円により利益剰余金が5百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が24百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は16.0%（前連結会計年度末は17.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、603百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は158百万円（前年同四半期は143百万円の使用）となりました。主な内訳は、減価償却費21百万円の計上を含む税金等調整前四半期純利益20百万円を計上しましたが、新規店舗の出店や美容事業の拡大などにより棚卸資産が241百万円増加したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は52百万円（前年同四半期は75百万円の使用）となりました。主な内訳は、新規店舗の出店に伴う有形固定資産の取得による支出49百万円、差入保証金の差入による支出5百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は222百万円（前年同四半期は109百万円の獲得）となりました。主な内訳は、配当金の支払額20百万円がありましたが、新規出店や美容事業の拡大に伴う増加運転資金を長・短期借入金264百万円の純増で賄ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間においては、売上高、利益とも計画を上回ることができました。なお、詳細につきましては、本日付で開示しております『2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ』をご参照ください。

通期業績予想については、2023年5月2日に公表しました2024年3月期通期の業績予想を据え置いております。為替や世界情勢の不透明感は拭えませんが、最需要期である年末・年始商戦に向け、万全の準備を整え、利益の確保に努めてまいります。今後、新たな業績の見込みが判明した場合には、速やかに業績予想の修正を行ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	593,204	603,926
売掛金	845,453	1,174,498
商品	2,095,630	2,337,340
預け金	136,687	104,111
その他	177,265	153,780
貸倒引当金	△17,642	△19,016
流動資産合計	3,830,597	4,354,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	129,951	133,430
土地	429,273	429,273
その他（純額）	70,572	83,073
有形固定資産合計	629,796	645,776
無形固定資産		
ソフトウェア	21,606	18,593
無形固定資産合計	21,606	18,593
投資その他の資産		
投資有価証券	95,369	120,572
差入保証金	323,485	324,837
繰延税金資産	28,504	26,359
その他	15,872	15,141
投資その他の資産合計	463,231	486,910
固定資産合計	1,114,634	1,151,280
資産合計	4,945,231	5,505,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	632,321	880,083
短期借入金	2,312,648	2,615,999
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	77,919	75,822
リース債務	4,616	4,431
未払金	303,340	308,100
未払法人税等	18,660	8,700
契約負債	12,360	29,035
その他	40,739	77,258
流動負債合計	3,442,606	4,039,430
固定負債		
社債	160,000	140,000
長期借入金	200,406	163,335
リース債務	6,931	8,858
役員退職慰労引当金	109,800	109,800
退職給付に係る負債	101,073	98,094
資産除去債務	3,288	3,288
長期預り保証金	29,980	29,980
長期未払金	20,579	24,574
固定負債合計	632,058	577,931
負債合計	4,074,664	4,617,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,990	10,000
資本剰余金	454,388	504,378
利益剰余金	337,443	331,488
自己株式	△5,026	△5,046
株主資本合計	846,795	840,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,997	40,505
退職給付に係る調整累計額	1,971	1,431
その他の包括利益累計額合計	17,968	41,936
新株予約権	5,802	5,803
純資産合計	870,566	888,560
負債純資産合計	4,945,231	5,505,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
売上高	3,226,764	3,992,609
売上原価	2,176,837	2,620,837
売上総利益	1,049,926	1,371,771
販売費及び一般管理費	982,018	1,292,520
営業利益	67,907	79,251
営業外収益		
受取利息	134	150
受取配当金	1,303	1,376
その他	855	405
営業外収益合計	2,294	1,932
営業外費用		
支払利息	21,989	20,696
社債利息	—	400
新株予約権発行費	1,599	1,928
為替差損	8,546	36,434
その他	1,255	811
営業外費用合計	33,390	60,271
経常利益	36,810	20,913
税金等調整前四半期純利益	36,810	20,913
法人税、住民税及び事業税	18,198	5,045
法人税等調整額	△243	1,449
法人税等合計	17,955	6,494
四半期純利益	18,855	14,418
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,855	14,418

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
四半期純利益	18,855	14,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	24,507
退職給付に係る調整額	△1,553	△539
その他の包括利益合計	△1,826	23,967
四半期包括利益	17,029	38,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,029	38,386

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	36,810	20,913
減価償却費	12,631	21,301
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	926	△3,518
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△444	1,373
受取利息及び受取配当金	△1,438	△1,526
支払利息及び社債利息	21,989	21,097
売上債権の増減額 (△は増加)	2,623	△309,253
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△218,613	△241,709
預け金の増減額 (△は増加)	15,961	32,576
仕入債務の増減額 (△は減少)	72,137	250,706
未払金の増減額 (△は減少)	16,517	30,304
未払又は未収消費税等の増減額	△18,531	55,369
その他	△18,511	△1,398
小計	△77,939	△123,765
利息及び配当金の受取額	1,436	1,525
利息の支払額	△23,663	△21,677
法人税等の支払額	△43,108	△15,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	△143,275	△158,921
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△35,000	—
有形固定資産の取得による支出	△29,876	△49,531
無形固定資産の取得による支出	△6,442	—
差入保証金の差入による支出	△13,810	△5,130
差入保証金の回収による収入	14,398	3,779
その他	△5,055	△1,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,786	△52,778
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	303,351
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,899	△39,168
社債の償還による支出	—	△20,000
リース債務の返済による支出	△2,788	△3,385
セール・アンド・割賦バックによる収入	33,000	5,128
設備関係割賦債務の返済による支出	△12,802	△3,387
新株予約権の行使による株式の発行による収入	810	—
新株予約権の発行による収入	0	0
配当金の支払額	△100,471	△20,145
その他	△8	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,839	222,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△109,184	10,722
現金及び現金同等物の期首残高	724,470	593,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	615,286	603,926

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

資本金の額の減少

2023年6月16日開催の第61期定時株主総会において、資本金の額の減少の件に関して次のとおり決議され、2023年7月20日の効力発生により、資本金の額が減少しております。

(1) 資本金の額の減少の理由

今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

(2) 資本金の額の減少の内容

1) 減少する資本金の額

資本金の額59,990,212円のうち49,990,212円を減少し、その減少額全額をその他資本剰余金に振り替え、減少後の資本金の額を10,000,000円といたしました。

2) 資本金の額の減少の効力発生日

2023年7月20日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年3月21日 至2022年9月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,817,669	1,307,704	—	3,125,373	82,190	—	3,207,564
その他の収益	—	—	19,200	19,200	—	—	19,200
外部顧客への売上高	1,817,669	1,307,704	19,200	3,144,573	82,190	—	3,226,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	50,172	—	50,172	—	△50,172	—
計	1,817,669	1,357,877	19,200	3,194,746	82,190	△50,172	3,226,764
セグメント利益又は損失 (△)	△10,040	214,669	16,779	221,408	2,842	△187,440	36,810

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,440千円は、セグメント間取引消去△704千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△186,736千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のファッション事業の売上高は640,042千円減少し、セグメント利益は1,108千円増加しております。また、美容事業の売上高は786千円減少し、セグメント利益は104千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年3月21日 至2023年9月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,768,011	2,076,530	—	3,844,542	130,367	—	3,974,909
その他の収益	—	—	17,700	17,700	—	—	17,700
外部顧客への売上高	1,768,011	2,076,530	17,700	3,862,242	130,367	—	3,992,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,768,011	2,076,530	17,700	3,862,242	130,367	—	3,992,609
セグメント利益又は損失 (△)	△27,868	216,448	15,325	203,904	15,706	△198,698	20,913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△198,698千円は、セグメント間取引消去4,189千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△202,888千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。